



父 吉田喜一郎
1873年（明治6年）生まれ
1929年（昭和4年）逝去

た。大正九年（一九二〇年）の時です。

富三は、中学校の頃、夏休みなどに、東京から浅川に帰って来ると、その頃浅川町ではめずらしかった自転車を、小学校の校庭に持ち出して遊びました。近くの子供たちを乗せてあげたりして、よくめんどうをみました。集まってきた子供たち全員を公平に、あたたかい心で遊んであげたので、とても尊敬されました。やさしい、思いやりのある少年だったので。

二

富三は、昭和二年（一九二七年）東京帝国大学医学部（今の東京大学）を卒業して、大学に残ってさらに研究を続けることにしました。故郷の父にしてみれば、早く医者になって、自分のところに帰って来てもらいたいと考えたかもしれません。

しかし富三は、開業の医者になるにしても人間の体のしくみを、実際に調べるのが大事なことだと考えていたのです。

ところが、富三が大学に残って研究を始めてか